

結核を減らすために



シールぼうやとシールちゃん

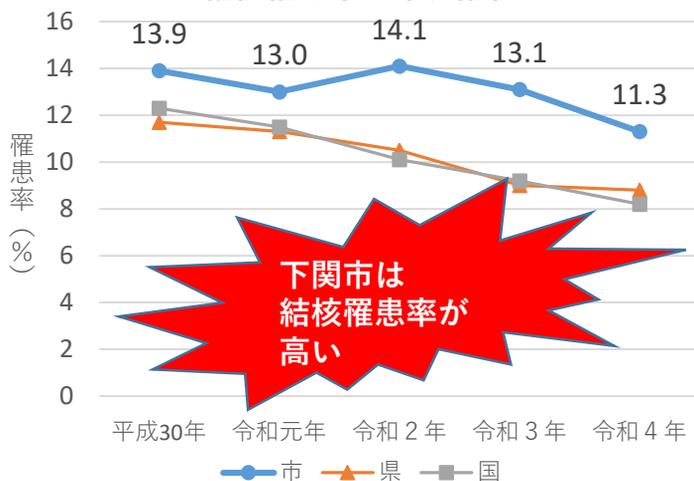
下関市の結核の現状



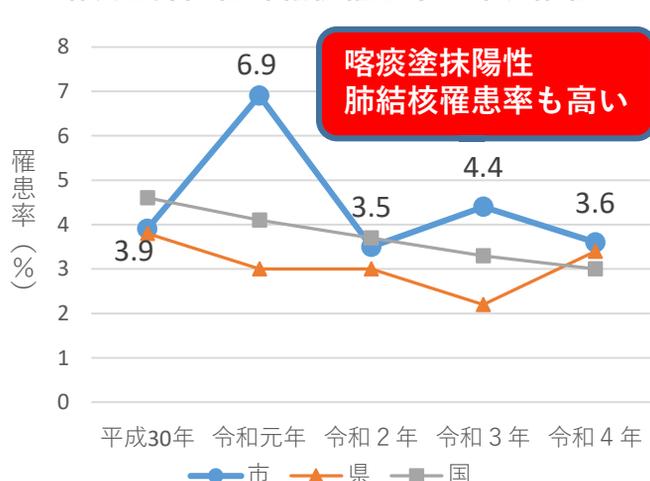
～結核は過去の病ではありません！～

山口県内では年間100人以上、下関市内では年間約40人前後の新規の結核患者が発生しています。下関市における結核罹患率※は減少傾向にはありますが、全国や山口県と比較すると、依然高い状況です。（※新登録結核患者数 ÷ 人口 × 10万）
 また、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率※についても、全国や山口県と比較して、下関市は高い状況にあります。（※喀痰塗抹陽性：喀痰の塗抹染色検査で陽性と判定されたもの = 排菌者）
 （※喀痰塗抹陽性肺結核患者 ÷ 人口 × 10万）

結核罹患率の年次推移



喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移



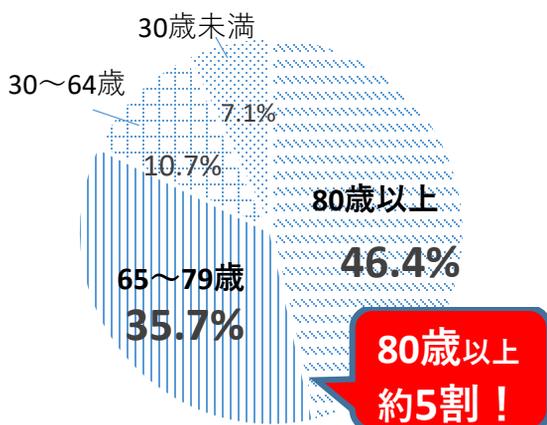
～80歳以上に多い結核！～



下関市で令和4年に発生した結核患者の年齢構成は、65歳以上が8割を占めています。

特に、80歳以上の高齢者が多く、患者の約半数を占めています。

新登録結核患者の年齢構成(令和4年)

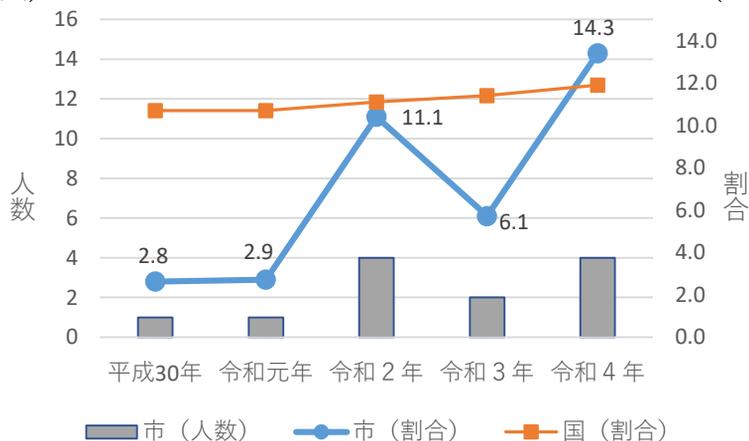


～外国出生者の結核～



新登録結核患者のうち外国出生者の割合は全国的に増加傾向にあり、下関市においても、割合としては増加傾向にあります。20～30歳代の結核患者は、外国出生者が約半数を占めています。罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられます。

(人) 新登録結核患者に占める外国出生者の年次推移 (割合)





施設の皆様へお願いしたいこと

シールちゃん

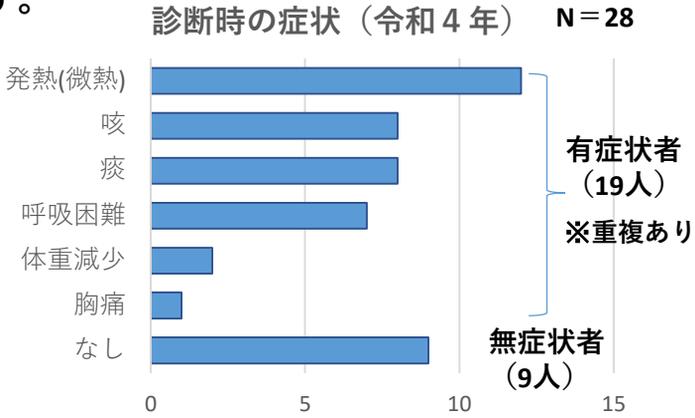
～結核は早期発見が大切！！～

結核は、発見が遅れることで、感染拡大につながる場合があります。
早い段階（排菌前）で結核の発病が発見出来れば、人への感染を防ぐことができます

①有症状時の受診の徹底をお願い致します。

結核を発病すると、咳や痰、発熱など風邪によく似た症状が出ると言われていますが、下関市においても同様の傾向です。

特に、高齢者は症状がはっきり現れない場合も多く、発見が遅れることもあります。
日頃から利用者の健康観察を注意深く行っていただき、体重減少や倦怠感等が出現した場合には、受診の勧め、又は同行をお願い致します。



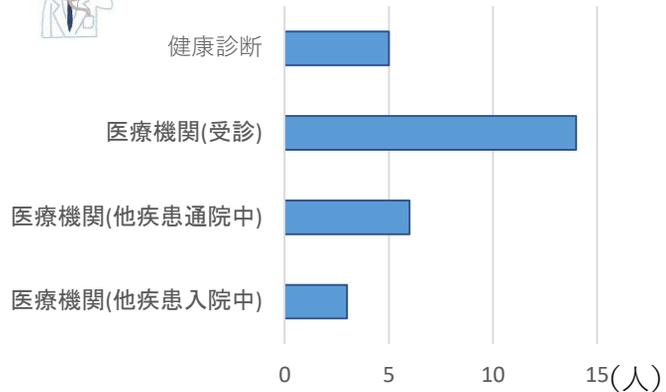
②健康診断（胸部X線検査）の受診をお願い致します。

下関市における令和4年の患者発見状況は、健康診断（胸部X線検査）が全体の約2割を占めており、健康診断（胸部X線検査）の受診も結核患者の発見には大切です。

感染症法により、65歳以上の方や、結核を発病した場合感染を蔓延させる恐れが高い集団・職種を対象に、年に1回結核定期健康診断を受けることが義務付けられています。
施設内の結核の集団感染を防ぐためにも、結核定期健康診断が義務付けられている対象者については、必ず健康診断（胸部X線検査）の受診をお願い致します。



患者発見方法（令和4年） N=28



③精密検査の速やかな受診をお願い致します。

健康診断は、病気の早期発見を目的としているため、少しでも疑わしい部分があれば精密検査の対象となります。

下関市における令和4年の結核定期健康診断対象機関において、精密検査を受診されている方が多数ですが、中には受診されていない方もいます。精密検査を受診しない、又は受診の遅れにより結核の発見が遅れることで、集団感染に繋がる可能性があります。

精密検査対象者には、速やかな受診の勧め、又は同行をお願い致します。

定期健康診断対象機関における精密検査対象者数（令和4年度）

